

# 甲斐市文化協会だより

第20号



## 第20号発刊にあたり

甲斐市文化協会会長 片野 誠一



梅の花が例年より一層力強く咲き誇っています。会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

思い起こせば昨年の今頃は、コロナ禍の終息を待ちわびる日々でした。そして、5月には新型コロナウイルス感染症における感染法上の位置づけが2類から5類に引き下げられ、私達文化協会にとっては再スタートの年となりました。この3年間のコロナ禍は、科学技術が発達した現代社会にとってもあまりにも多くの傷跡を残しましたが、予期せぬ出来事に対してどのような対処すべきかを問われた貴重な機会ともなりました。「ピンチをチャンスに変え、前向きに考えること」が重要であることを思い知らされた年月でした。

このような状況の中、私達文化協会はこの3年間の経験を前向きに捉え行事を再開しました。6月には、NHK大河ドラマ「どうする家康」巡りで静岡方面に会員研修を行い、多くの参加者を迎えました。9月には市民文化事業である文化講演会を開催し、金田一秀穂先生をお招きして「世界一受けたいおも

しる日本語授業」と題した講演を実施しました。日本語の奥深さと面白さを分かり易くユーモアを交え講演して頂き、会場一杯の参加者が笑顔で会場を後にする姿が印象的でした。そして、11月には文化祭を、例年開催していた敷島総合文化会館が耐震工事を利用できなかったため、初めて双葉ふれあい文化館で開催しました。会員皆様の協力を得て、ロビー等にて展示作品発表、ホールにて演技発表と、会場の特徴を活かした「まとまりのある発表」を行うことができました。これからも会員・市民の皆様に満足していただけるよう工夫しながら様々な事業を開催していきたいと思います。

さて、世界に目を向けると世界各地で戦争が起り、連日私達の目を疑わせるようなニュースが報道されています。このような状況を打破すべき解決の糸口が文化芸術にあると思います。甲斐市市民憲章の一文にも「新しい文化を創造し、平和で住みよいまちをつくる」とあります。今後、会員の皆様と共に交流の輪を広げ、日頃の活動を積み重ねながら、培ってきた文化芸術を次世代に引き継ぐことができよう努めて参りたいと思う次第です。

最後になりましたが、会員各位のさらなる発展をお祈りすると共に、本協会に対し、ご指導・ご協力・格別のお力添えを頂いた関係機関の皆様にご心よりお礼申し上げます。

専門部活動状況

囲碁部

部長 安藤 佳俊

今年も3月、5月、11月に囲碁大会を開催しました。30年前は敷島支部だけでも部員が約100人いましたが、今は20名となりました。ヒカルの碁世代が囲碁部に入ってくるまで存続したいものです。入部希望者はお気軽にご連絡ください。お待ちしております。11月3日の文化祭囲碁大会の参加者は18名でした。Aパート優勝は昨年引き続き中村英治さん、Bパート優勝は望月政明さんでした。



オカリナ部

部長 浅川 晴美

4月・地域のいきいきサロン、6月・山梨オカリナふれあいコンサート、7月・山梨市の介護施設慰問、9月・地域の敬老会、11月・文化祭で演奏しました。高齢者にとって最近の新しいリズムは、覚えるのに一苦労です。リズムの複雑な曲はほんの少し調子がずれただけでも旋律が乱れてしまいます。全員で音を合わせ、リズムを合わせることに一段と難しく大変でしたが、挑戦できて良かったです。



未経験の方  
大歓迎

新規会員募集



【問い合わせ先】  
甲斐市文化協会（事務局：甲斐市教育委員会 生涯学習文化課内）  
電話：055-278-1697  
Email：shougaigakusyu@city.kai.yamanashi.jp  
※問い合わせ内容については、直接部長とお話をさせていただきます。



文化講演会



会員研修  
県内外へ



総会



文化祭

発表や展示等で参加できます

歌謡部

部長 野中 やすよ

今年度、歌謡部は3グループから1グループになりました。月2回の練習を敷島総合文化会館で行っています。歌謡は一人で歌うことが多いため、お互いの歌を聴くことが楽しみでもあります。集うことで親睦を図りながら、文化祭や公民館まつり等の発表を目標に精進していきたいと思えます。



器楽部

部長 保坂 淳

器楽部は、甲斐市敷島吹奏楽団として活動しています。年2回の主催演奏会(定期演奏会、にじいろコンサート)を始め、吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテストにも参加しています。また、甲斐市主催のイベントや地元のお祭り等にも積極的に参加する他、老人ホーム等でミニコンサートも行っています。当団では一緒に活動する仲間を随時募集しています。興味のある方はホームページをご覧ください。



コーラス部

部長 内藤 久子

文化祭や公民館まつり、おかさんコーラス大会等の舞台発表が開催され、ようやく日常が戻ってきたことを嬉しく思います。福祉施設でのボランティア活動もでき、貴重な体験となりました。発表する場があるということは日頃の練習での意気込みも違います。暗譜することも年々大変になってきましたが、これからも美しいハーモニーを目指して楽しく練習に励んでいきたいと思えます。



茶道部

部長 鎌田 幸美

私共茶道部は、竜王・敷島・双葉と3ブロック3流派(裏千家・江戸千家・表千家)でそれぞれ活動を行っています。今年度は、4年ぶりの文化祭にあたり、初の試みとして合同でお茶会を開催しました。多くの市内外のお客様をお迎えし、お茶席での一服をお楽しみ頂けたことは、茶道部一同感謝の気持ちで一杯です。皆様も茶道への扉を開けてみませんか。一同お待ちしております。





**三曲部**

部長 柴田 健一

私たち三曲部は、箏（こと）・三絃・尺八で邦楽の演奏活動をしています。文化祭や竜王北部ふれあい発表会に向け、月1回楽しく練習をしています。邦楽愛好者の入部希望大歓迎です。ぜひ一緒に演奏しましょう。ご連絡をお待ちしています。



**詩吟部**

部長 米山 宏

詩吟部は、竜王中部公園セミナーハウスで月4回2時間の練習をしています。詩吟は腹式呼吸で腹の底から声を出すため健康にいいと思います。12月3日にやまなし県民文化祭部門別フェスティバルが県立文学館講堂で開催されました。詩吟部からは男性4人で参加しました。県内の吟剣詩舞の愛好家が集い盛況な大会となりました。久しぶりにマスク無しで吟ずるのは気持ちの良いものでした。只今、部員募集中です。



**将棋部**

部長 大下 晃

将棋部では、毎週日曜日の午後、竜王中部公園セミナーハウスに集まり対局や親睦を図ります。また、文化祭では将棋大会を開き、部員や一般参加者で成果を競い合います。なお、部員も随時募集しています。初心者、子ども、女性、誰でも将棋に関心のある方は一度遊びに来てください。活動日 日曜日 時間 午後1時～5時 場所 竜王中部公園セミナーハウス2階



**大正琴部**

部長 有泉 宏子

3月、南アルプス市桃源文化会館で春のつどいがあり、会食は出来ませんが、皆で集まって演奏することが出来ました。そして、5月に新型コロナウイルスが5類に移行し、11月に4年ぶりの文化祭が開催され、参加することが出来ました。年々仲間が高齢化する中、初心者教室では新たな仲間も増えました。どうぞ一度教室を見学しに来ませんか。お待ちしております。

舞踊部

部長 山下 千代子



コロナ禍のため3年間空白だった活動もやっと少しずつ動き出し、今年は5月に総会を行うことができました。また、7月にゆかたざらいを竜王北部公民館で行い、部として久しぶりに舞台で踊ることができました。舞踊部は14グループが各々練習の場を持って稽古に励んでいます。舞台でその成果を見せ合えるのが楽しみです。3月17日に双葉ふれあい文化館で舞踊の会を行います。是非お出掛け下さい。

フラダンス部

部長 花形 俊子



コロナが5類に移行して、以前のような活動が出来るようになりました。7月には池の平ホテルの白樺リゾートフラ、8月にKAIふれあいステージ、11月には文化祭に参加し、日頃の練習の成果を発表することが出来ました。目標があると練習にも力が入ります。フラダンスは曲に合わせてゆったりとした動きなので、年齢に関係なく誰でも楽しく踊れます。月2回の練習ですが、興味のある方は一緒に踊りませんか。

民謡部

部長 小田切 博



長いコロナのトンネルを抜け、4年ぶりに文化祭が昨年11月11日〜12日に開かれました。初めて双葉ふれあい文化館で開催され緊張しましたが、民謡部は4曲を歌い切りました。10月29日には中央市芸能発表会にゲスト出演しました。民謡は本当に気持ちがいいです。日頃のストレスが吹き飛びます。民謡部の練習日は毎月2回仲新居公民館で行っています。いつでも見学ができます。民謡と一緒に歌いませんか。

(上) 4年ぶりに開催の甲斐市文化祭  
(下) ゲスト出演の中央市文化祭

朗読部

部長 保坂 恵子



私達朗読部は、永田京子先生のご指導の下、敷島公民館で活動しています。毎年、やまなし県民文化祭朗読フェスティバルや文化祭等の発表に参加しています。また、毎月1回玉幡児童館で読み聞かせボランティアも行っています。1月には県芸術文化協会の新春合同朗読会が県立図書館で開かれ、出演者は猛練習しました。これからも皆で切磋琢磨しながら活動を続けていきたいと思えます。

絵画部

部長 長田 武次

私達は柗津里江先生の指導の下、双葉公民館で第3第4金曜日に活動しています。春の桜、秋の紅葉等四季折々の風景とその他静物等を描いています。

作品は文化祭や公募展に出品しています。私達の作品を見て感動してもらえそうな絵を描いていきたいと思っています。今年新しく1人入部し、部も賑やかになりました。絵に興味がある方はぜひ一緒に活動しませんか。



「春めく」 柗津 里江



「夏の野菜」 石川 花子



「秋の花」 金川 澄子



「シンビジウム」 窪田なが子



「白蓮」 三井 正美



「樹人を描く」 加藤すみ子



「鶏頭」 保坂 愛子



「赤いりんごと白い布」 長田 幸子



「庭先のバラ」 長田 武次



「秋のグラウンド」 難波 正男



「塩川堤の秋」 相川 正義

写真部

部長 山本 賢治

我が写真クラブも、早56年を迎えようとしています。毎月13日に定例会を開催し、持ち寄った写真を部員同士で審査し、順位を発表し合い、お互いの技量を高め合っています。また、春の桜、秋の紅葉など、撮影旅行を行い、部員の親睦と技量向上に努めています。  
年齢、男女の壁はございません。写真に興味のある方の参加をお待ちしています。

(記 奥山 義明)



「仔うまの語り」 保延 眞子



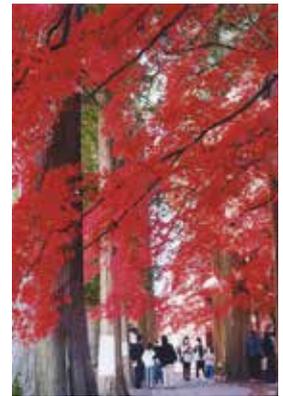
「西日輝く富士」 小畑もり江



「モミジに囲まれて」 市川 正子



「棚田で天日干し」 吉牟田昭一



「秋模様」 奥山 義明



「夏の高原」 中山 春一



「癒やしの一時」 三枝 良文



「海の貴婦人」 石川 恭子



「御領棚田の満月とイルミネーション」  
山本 賢治



オウセン  
「姫仙の滝」 柘田 榮一

書道部

部長 細田 初子

書道部が市立保育園から依頼を受けて書道教室をさせて頂くことになって、今年で11年目を迎えます。

今年は山日YBS席書き大会幼児課題の「たつ」に挑戦しました。躍進をテーマにした課題です。未来に向かって大きく飛び立つたつを心に浮かべて、元氣一杯の「たつ」を書きました。

初めて筆を持つ園児が殆どの中、笑顔を絶やさず優しく指導して下さいました。有難うございました。



「北原白秋のうた」 小宮山澄枝



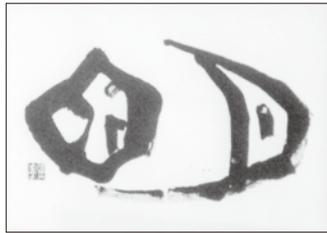
「龍鑄詩」 津金 ルミ



「游神」 小野 啓子



「佳適」 新藤 芳美



「明」 中込 弓子



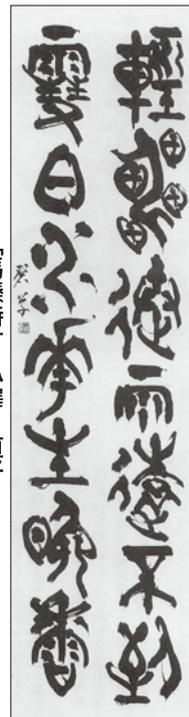
「和顔」 清水美代子



「銀河花外轉」 山田 和代



「龍鑄詩」 細田 初子



「馬蹊詩」 小澤 直子



「春徳風」 志村 真弓



「花蝶鳥」 大久保よし子



「王維詩」 小宮山 智

水墨画部

部長 窪川 幸子

水墨画はそんなに難しいものではなく、基本指導のもと山水や花鳥が描けるようになります。練習するほど自信が湧き、作品になると嬉しくなります。去年から入部した新人の作品も余白と墨の濃淡のバランスが絶妙で、早い上達に驚くばかりです。描く心を大切にする人なら、きっと上達が早いでしょう。皆様も水墨画を始めてみませんか。お気軽にご参加ください。お待ちしております。



「ひまわり」 小松 善子



「双子山冬韻」 小林 利之



「つばき」 小沢ひろみ



「ポタン」 窪川 幸子

川柳部

部長 齋藤 恵三

毎月の句会では、望月孝美先生、塚原羊雲先生にご指導頂き、部員各自の作品を席上で推選並びに講評して、皆で切磋琢磨しながら学んでいます。世の中の様々な思いや感動を十七音字で表現する川柳は脳トレにも良いと言われています。

あなたの入部を歓迎します。活動内容は次のとおりです。

句会・毎月第3木曜日

場所・竜王南部公民館

発表・句誌発行 山日掲載

展示・文化祭 公民館他



ドック受け結果の数値のぼり坂  
小宮山 久

どうしてる姉から電話安堵する  
長谷川みゑ子

望郷の念やるせない避難民  
橋本 喬一

スマートな秋刀魚にやはり手が迷う  
米山ヨシミ

諦めず宝探しの八十路坂  
齋藤 恵三

鈴虫の声を聴く甲斐



7月23日～29日 竜王駅南北自由通路にて

戦争は破壊と悲劇増悪生み  
木村富貴子

また洗いまた拭いてやる老いた顔  
塚原 羊雲

短歌部

部長 花輪 八重子

短歌部は部員11人、講師の柀津達子先生から助言を頂き、毎月第3木曜日に双葉公民館で勉強会を行っています。主な活動は、山日文芸ひろばへの投稿、文化祭や双葉公民館まつりへの展示、双葉公民館ギャラリーでの年間展示等です。

暮らしの哀楽や自然の美しさ、人とのつながりなど、自分の心に向き合いながら短歌を詠っていきたいと思います。



軒深くつる干しおく大根の甘く匂える  
夕ひそやかに  
柀津 達子

蠟梅のひっそり咲きいる一月は夫逝き  
し月夫の愛でし花  
花輪 八重子

立春の温き陽のさす葡萄畑今年も来て  
いる山雀一羽  
小林 京子

桜木の散り敷く落葉の道端を音なくぬ  
らす霜月の雨  
輿石みどり

「うまいなあ」といつもと変らぬ味噌  
汁を啜る音する厳寒の朝  
小林富美子

コロナ禍で交流途絶えし友達と共に老  
いてか元に戻れぬ  
乙黒 久美

カリカリとコーヒー豆挽く三十秒仕事  
モードに切り換わる朝  
藤本 寛子

八幡芋とどきて作りし芋煮鍋昭和の思  
い出語りつつ食ぶ  
竹井 益代

「見て見て」と夫に知らせる赤蜻蛉羽  
根を休めて吾木香の先  
岡田 文子

年経ても運動会とリンクする金木犀の  
香今年も流る  
宮沢 保子

数日で夏から冬へ一気とび気持ちも服  
も切りかえできず  
佐野 弘子

地域文化研究部

部長 坂本 ひとみ

新型コロナウイルスの5類移行により、4年ぶりに県外研修を実施することが出来ました。今年から猛暑の夏を避け、5月に県外研修、10月に県内研修と変更しました。

勉強会では、敷島公民館の地域文化事業である、市民によるミュージカルのDVD鑑賞をしました。

○4月27日総会・勉強会

「輝くブドウの母の国」

○5月16日県外研修

「松本方面」

○10月23日県内研修

「小淵沢方面」



まつもと空港

● 県外研修 松本方面

令和5年5月16日



まつもと空港



国宝旧開智学校校舎を背に



松本美術館「草間彌生の世界」



校舎横藤棚の下で勉強会



「大いなる巨大な南瓜」

● 県内研修 小淵沢方面

令和5年10月23日



平山郁夫シカゴ・ド美術館



「奏樹」にて食の勉強



身曾岐神社



美術館内



能楽堂前で

陶芸部

部長 片野 誠一

長いコロナ禍を経てようやく本格的に活動を始めましたが、猛暑の上、長い間親しんだ活動場所の移転話もあり、思うような活動ができず、本焼きも1回しか出来ませんでした。

令和6年度は、部員一同、陶芸の楽しさや面白さ、興味深さを広めながら、仲間を増やしていきたいと思っております。今以上に作品作りに励み、コロナ前のように年2回の本焼きをしていきたいです。



「花瓶」 小田切温子



「犬」 小山 洋俊



「カップ等」 片野 誠一



「陶板・花瓶・皿」 佐藤 太



「ミニ植木鉢」 佐野 孝



「皿・カップ」 進藤 勝平



「片口・盃」 長尾 昌夫



「器」 橋本 義正



「いろいろな器・小物」 浅田みどり



「お皿」 小池 綾子



「フルーツ皿・状差し」 佐野貴美子



「器」 広瀬美喜子



「花器」 古屋 治子



「器」 門馬 君江



「香炉・花入れ」 由井 千鳥



「器」 吉岡枝里子

俳句部

部長 早川 幸子

俳句は十七文字の詩。ささやかな移ろいを掬い取り、日本語の美しさに乗せていきます。

季語は俳句そのもの。季語を学ぶことから俳句は始まります。奥深い季語の世界が無限に広がっていきます。

溢れる思いを十七文字に込め、削り取り、削り尽くしてその思いは十七文字に収まってくれるのか？簡単にはいかない!!頭の中で葛藤が繰り返され、それを楽しむことが俳句の楽しみなのでしよう。



龍王興風会

初富士に向く茅ヶ岳古墳群  
清水 睦山

久に訪ふ友の笑顔や石路の花  
芦沢 秀子

仕事始 我にも昔 あったかと  
三井真由美

眠き児を揺り起しつつ星まつり  
西山 正盛

ベイゴマを廻してじじは孫に見せ  
中山 晋

壁に蔦 這い廻り来る 絵のように  
小宮山 久

志麻句会

十日市値引き許さぬ白き息  
堀内 克一

石路の花隅でにこりと咲き始む  
有井 房枝

田から田へ矢のごと塩辛とんぼかな  
長谷川栄子

半眼の猫と目の合ふ小春かな  
佐野 彌生

老いの身に腰の重たき残暑かな  
中澤 弥生

雪曇り釣人ポツリ日本海  
早川 幸子

漬け樽を逆さに乾して冬隣  
乙黒 明雄

山裾の 観音像や 冬うらら  
長谷川 勇

**活動団体別 定期活動一覧表**

部名	活動団体名 (グループ)	活動日程	活動場所	
22	舞 踊 部	双葉千仙会・竜王千仙会	毎週月曜日10時～正午	指導者宅(志田)
			毎週金曜日10時～正午、13時半～15時	
			毎週土曜日10時～12時半	
		不定期	双葉公民館	
	弥恵澄会	毎週月曜日9時～17時	指導者宅(団子)	
		毎週土曜日9時～正午		
	秀の会	毎週日曜日9時～正午	竜王北部公民館	
	文和会	毎週土曜日9時～正午	指導者宅	
	紅の会	毎週火曜日10時～11時	大下条公民館、長塚公民館、 敷島総合文化会館	
		毎週金曜日10時～11時、13時半～14時半		
	芳扇会	毎週火曜日13時～15時	指導者宅	
		毎週水曜日13時半～15時		
	華乃会	毎週土曜日13時半～15時半	敷島総合文化会館	
	羽舞美会	不定期	指導者宅(西八幡)	
	のぞみ会	不定期	指導者宅	
	東雲会	不定期	指導者宅	
	若葉会	不定期	万才東区公民館	
睦喜会	毎週金曜日19時半～22時	指導者宅		
	毎週木曜日15時～17時			
弥恵鶴会	不定期	指導者宅		
祥扇会	不定期	指導者宅		
23	フラダンス部	プア・ケニケニ・アロハ・フラ	毎月第2・4木曜日13時半～15時半	敷島体育館、敷島総合文化会館
		プルメリア	毎月第1・3金曜日13時半～15時半	敷島総合文化会館
		レイアロハ	毎月第1・3火曜日13時半～15時半	敷島総合文化会館
24	民 謡 部	末苗会	毎月2回月曜日13時～16時	仲新居区公民館
25	朗 読 部	溝口朗読サークル	毎月第1・3・4木曜日13時半～15時半	敷島総合文化会館
		朗読サークルつばさ	毎月第3木曜日10時～正午	敷島総合文化会館

**令和5年度 甲斐市文化協会役員**

会 長	片 野 誠 一	会 計	坂 本 ひとみ
副 会 長	小 田 切 博	会 計	内 藤 久 子
副 会 長	安 藤 佳 俊	理 事	各 部 部 長
事務局長	有 泉 宏 子	監 事	橋 本 喬 一
事務局次長	野 中 やすよ	監 事	田 中 妙 子

## 活動団体別 定期活動一覧表

	部名	活動団体名(グループ)	活動日程	活動場所
1	囲碁部	敷島会	隔月第4日曜日13時～17時	敷島総合文化会館
		長塚支部	毎週月曜日13時～17時	長塚公民館
2	オカリナ部	プリティーナ	毎月第1・2・4日曜日10時～11時半	敷島台コミュニティーセンター
3	絵画部		毎月第3・4日曜日13時～16時	双葉公民館
4	歌謡部	ひばり会	毎月第2・4日曜日13時～16時半	敷島総合文化会館
5	器楽部	甲斐市敷島吹奏楽団	毎週月・水曜日19時半～22時	自然休養村管理センター
			隔週土曜日18時～22時	
8	コーラス部	敷島合唱団「オーロラ」	毎月第1・2・3日曜日10時～11時半	敷島総合文化会館
9	茶道部	敷島茶道部(江戸千家)	毎月第4日曜日9時半～	敷島総合文化会館
		なごみの会(裏千家)	毎月第1・3日曜日13時～17時	竜王北部公民館
			毎月第4日曜日18時半～22時	
茶道部双葉支部(表千家)	毎月第3日曜日13時～17時	双葉ふれあい文化館		
10	三曲部		不定期	竜王北部公民館
11	詩吟部	竜王朗詠会	毎月第2・4日曜日19時～21時	竜王中部公園セミナーハウス
			毎月第1・3日曜日10時～正午	
12	写真部		毎月13日19時～21時	敷島総合文化会館
13	将棋部		毎週日曜日13時半～16時半	竜王中部公園セミナーハウス
14	書道部		不定期	お問い合わせください
15	水墨画部	竜墨会	毎月第2日曜日13時半～17時	竜王北部公民館
16	川柳部	竜王会	毎月第3日曜日13時半～15時半	竜王南部公民館
17	大正琴部	つくし会	毎月第1・3日曜日13時半～15時半	上町北公民館
		あやめ会、こだま会	毎月第2・4日曜日13時半～15時半	敷島総合文化会館
		はまなす会、カトレア会	毎月第1・3日曜日13時半～15時半	敷島総合文化会館
		有明会	毎月第2・4日曜日10時～12時	長塚公民館
18	短歌部	短歌部双葉支部	毎月第3日曜日13時半～17時	双葉公民館
19	地域文化研究部		4月総会・勉強会、5月県外研修会、 10月県内研修会	研修先
20	陶芸部	甲斐陶苑	毎月第2・4日曜日9時半～15時	陶芸教室 (甲府西消防署南隣)
			毎月第2・4日曜日9時半～正午	
21	俳句部	龍王興風会	隔月第2日曜日13時～16時	竜王新町下公民館
		志麻句会	月1回不定期	敷島総合文化会館

# 甲斐市 生き甲斐音頭 甲斐市文化協会選定

♩=114  
F

かまな し が 一 わ を し ず め て る し ん げ ん づ つ み は し ー の た か  
 ら かつ ぐ み こ し に こ え が わ く こ こ ろ い き な ら  
 の ー ぼ り り ゆ う あ じ の よ さ な ら  
 ソ ー レ や わ た い も い い か い い い か い す き か い す き か い  
 か ー い し す き み ん な い き い き ま つ り す き  
 そ う づ ら そ う づ ら か い お ん ど

甲斐市文化協会選定  
**甲斐市 生き甲斐音頭**

作 補 小 重  
 編 曲 木 島 睦 夫  
 曲 村 山 二 永

一 釜無川を鎮めてる  
 信玄堤は市の宝  
 担ぐ神輿に声が湧く  
 心意気なら昇り竜  
 味の良さならソレ 八幡いも

※ 二 百楽泉に影写す  
 前の富士山 背なの茅岳  
 恵み豊かな 裾野坂  
 芽吹く葡萄は 双葉より  
 明日を夢見てソレ 芳しい

※ (くりかえし)  
 三 四季が彩る 昇仙峡  
 川の流れば 水の道  
 棚田千枚 稲穂波  
 歌に詠まれた 敷島に  
 似合う香りはソレ 梅の花

※ (くりかえし)  
 三 四季が彩る 昇仙峡  
 川の流れば 水の道  
 棚田千枚 稲穂波  
 歌に詠まれた 敷島に  
 似合う香りはソレ 梅の花

## 甲斐市文化協会会則 (抜粋)

- (名称及び事務局)  
 第1条 本会は、甲斐市文化協会(以下「本会」という。)と称し、事務局を甲斐市教育委員会に置く。  
 (目的)  
 第2条 本会は、芸術文化団体相互の連携により活動を推進し、市民文化の向上に資することを目的とする。  
 (事業)  
 第3条 本会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。  
 (1) 構成団体の育成  
 (2) 出版、講演、展覧、演奏、講座、その他の文化活動  
 (3) 文化の啓蒙宣伝と文化活動の奨励  
 (4) 会員及び市民の認識を深め、意欲を高めるための文化祭の開催  
 (5) その他、本会の目的に必要な事業  
 (組織)  
 第4条 本会は、甲斐市民の文化団体をもって組織する。  
 (加入及び脱退)  
 第5条 団体の加入及び脱退は理事会の承認を必要とする。  
 (選出)  
 第7条 本会の役員を選出は次のとおりとする。  
 (1) 会長、副会長、事務局長、会計は、理事の中から選出し総会で承認を得る。  
 (2) 常任理事は会長、副会長、事務局長、事務局次長、会計で構成する。  
 (3) 監事は理事会で選出し、総会で承認を得る。  
 (4) 理事は各専門部長をもって充て、総会で承認を得る。  
 2 事務局次長は会員の中から選出することができる。但し総会で承認を得る。  
 (部組織)  
 第10条 本会に次の部を置き、各部ごとに部長、副部長を置く。  
 【部組織は専門部紹介の項参照】  
 (経費)  
 第12条 本会の経費は、会費、補助金、寄付金、その他を以ってこれに充てる。  
 (会費)  
 第13条 前条の規程による会費は、年額1人500円とし、年度上半期までに会員名簿を添えて納入するものとする。納入された会費は、いかなる場合も返還しないものとする。

## 甲斐市市民憲章

歴史と伝統と活力あるまち竜王・敷島・双葉が  
ひとつになり、甲斐市は生まれました。

わたくしたちは、甲斐市民であることに誇りと責任を  
もって、新しい文化を創造し、平和で住みよいまちを  
つくるため、ここに市民憲章を定めます。

わたくしたち甲斐市民は

- 緑豊かな やすらぎのまちをつくります
- 命はぐくむ すこやかなまちをつくります
- 笑顔あふれる ふれあいのまちをつくります
- 知恵を出し合い 学びあうまちをつくります
- しごとに励み 伸びゆくまちをつくります

平成17年9月1日制定



日本航空高等学校



# 甲斐市 文化協会

チャンネル登録はこちらから 

🔍 [かいしぶんかきょうかい](#)

 [YouTubeで検索](#)

